

東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	教科名	英米文化論 (教養ゼミ I)
科目基礎情報					
科目番号	0101		科目区分	一般 選択	
授業の形式	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般教育科		対象学生	4	
開設期	後期		週時限数	2	
教科書/教材	A Christmas Carol (Penguin)。参考図書・補助教材は適宜授業内で指示する。				
担当者	櫻村 真由				
到達目標					
<p>1. 今までの英語学習で培った英語力を用いて、Charles Dickens原作のA Christmas Carolのretold版を読み、内容を理解し、まとめることができる。</p> <p>2. 授業内で扱われる19世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、整理し、まとめることができる。</p> <p>3. 授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループで製作を行い、その成果を発表することができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	Charles Dickens原作のA Christmas Carolのretold版を読み、内容を正しく理解し、正確にまとめることができる。		Charles Dickens原作のA Christmas Carolのretold版を読み、内容を理解し、まとめることができる。		Charles Dickens原作のA Christmas Carolのretold版を読み、内容を理解することができず、まとめることができない。
評価項目2	19世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、上手に整理し、正確にまとめることができる。		19世紀イギリス文化について、知識や情報を得て、整理し、まとめることができる。		19世紀イギリス文化について、知識や情報をうまく整理し、まとめることができない。
評価項目3	授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループで製作を行うことができる。		授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループで製作を行うことができる。		授業で学習したイギリス文学・文化を元に、グループで製作を行うことができず、その成果を発表することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本ゼミでは、チャールズ・ディケンズのA Christmas Carol (1843年)を原作とretold版の両方を使いながら読んでいく。その際、クリスマスとはキリスト教においてどのようなものであるのかについて調べ、また、我々になじみ深いクリスマスツリー、クリスマスカードなどの風習がいつごろできていったのかを19世紀のイギリス文化と合わせて学習する。そのほか、ディケンズの物語がどのように当時の大衆娯楽の中に取り入れられていったのかなどについても触れる予定である。受講者は、A Christmas Carolの担当箇所や本ゼミのテーマと関連ある事項についての発表、クラスメートと共にプロジェクトを行う必要がある。				
授業の進め方と授業内容・方法	Retold版のA Christmas Carol (Penguin)を主に読み進めながら、背景知識となる19世紀のイギリス文学を含む当時の文化について学ぶ。教科書を読むにあたって、担当者を割り振り、担当者は発表において、担当箇所のあらすじ、登場人物、重要と思われるシーンや表現、担当教員が指定した原作の文章抜粋について発表を行う。作品が書かれた当時の時代背景を知るために、19世紀ウィクトリア朝文化・文学に関するテーマについて、科目担当者がミニレクチャー等を行い、それを元に、受講者自身が文献等を使って調査し、調査の成果をクラス内で発表するかたちで共有する。その他、授業で扱った作品に関連したグループプロジェクトを行い、その成果作品を発表する。				
注意点	授業に必要な連絡はKingで連絡することがある。予習をしっかり行い、発表に向けて準備をすること。受講者の状況等に応じて、授業内容を若干変更することがある。				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
後期	1週	ガイダンス	本科目で学習する事項をシラバスを元に説明を受け、理解することができる。		
	2週	Chap. 1, 担当決め、プレゼンテーションについて	A Christmas Carolの内容を理解することができる。		
	3週	Chap. 1, イギリス文学と文化#1	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作家チャールズ・ディケンズについて知識を得て、それを整理することができる。		
	4週	プロジェクトに関するグループワーク 担当教員とのカンファレンス	グループプロジェクトの発表に向けて、テーマに沿った準備を進めることができる。		
	5週	Chap. 2, イギリス文学と文化#2	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
	6週	Chap. 2, イギリス文学と文化#3	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
	7週	Chap. 3, イギリス文学と文化#4	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
	8週	プロジェクトに関するグループワーク 担当教員とのカンファレンス	グループプロジェクトの発表に向けて、テーマに沿った準備を進めることができる。		
	9週	Chap. 3, イギリス文学と文化#5	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
	10週	Chap. 4, イギリス文学と文化#6	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
	11週	Chap. 5, イギリス文学と文化#7	A Christmas Carolの内容を理解することができる。作品の背景にある文化に関する知識を得て、それを整理することができる。		
	12週	プロジェクトに関するグループワーク 担当教員とのカンファレンス	グループプロジェクトの発表に向けて、テーマに沿った準備を進めることができる。		
	13週	プロジェクト成果発表	グループプロジェクトの成果を発表することができる。		
	14週	プロジェクト成果発表	グループプロジェクトの成果を発表することができる。		

	15週	まとめ	本科目で学習したことを概観し、今後の学習目標を立てることができる。				
	16週						
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	グループプロジェクト	合計
総合評価割合	20	15	10	10	25	20	100
基礎的能力	20	5	5	5	0	0	35
専門的能力	0	5	5	5	25	10	50
分野横断的能力	0	5	0	0	0	10	15